

日頃より、県政へのご理解とご協力をいただき、心より感謝申し上げます。2025年度は文教常任委員会・社会問題特別委員会の委員として、県民の皆さまの声を議会に届けるべく、さまざまな課題に取り組んでおります。今号は1月から8月にかけての主な活動と成果をご報告いたします。



令和7年6月一般質問

実現

令和7年度予算

介護支援専門員の負担軽減へ

一般質問の動画は
こちらから
ご覧いただけます



令和5年12月の定例会の一般質問において、介護支援専門員（ケアマネージャー）のおかれている大変な状況を少しでも改善するために、国の基金を活用した介護支援専門員の法定研修の負担軽減を提言していました。

そしてついに、令和7年度から、法定研修受講料を10,000円軽減する事業が開始し、介護業界の方々から感謝の声を頂いています。

また、受講料以外にも研修プログラムの長さも負担になっていることから、研修内容を定めている国に対して、改善を求めるよう要望しています。

介護支援専門員法定研修負担軽減事業

目的	県内において介護支援専門員として従事する介護支援専門員の確保・定着
負担軽減額	研修受講料を10,000円軽減
対象者	●神奈川県で指定や委託を受けた研修機関が実施する介護支援専門員にかかる令和7年度以降に開講する法定研修を受講し、修了していること ●県内事業所において、法定研修修了時に介護支援専門員として従事していること

※未就労者については、研修修了後3か月以内に県内の事業所で介護支援専門員として従事した場合、対象となります。
※神奈川県以外で登録されている方も対象となります。

一般質問

から

5歳児健診の推進

一般質問の動画は
こちらから
ご覧いただけます



5歳児健診によって社会性や行動面の発達状況などを把握し、必要に応じて早期支援を行うことで、不登校や社会的孤立の予防につながる効果があることから、市町村が健診体制を整備しやすくなるよう、県として積極的に支援を行うべきと訴えました。

知事答弁 5歳児健診の県内での実施は7市町村にとどまっている現状を説明。市町村や保育士を対象に研修を実施し、事業ノウハウや先進事例を共有するとともに、小児科医の確保へ広域的な調整も進める方針を示しました。また、健診結果に基づく適切なフォローアップや、療育機関との連携体制の構築も市町村と共に検討を進めるとの答弁がありました。



おだ幸子プロフィール

藤沢市辻堂東海岸在住／2023年神奈川県議会議員選挙初当選／中小企業診断士／MOT(技術経営修士)／防災士／明治大学政治経済学部・日本工業大学専門職大学院卒業／大手損害保険会社に総合職として29年勤務／家族は夫と息子／趣味は読書・ドライブ／議会所属委員会：議会運営委員会・文教常任委員会・社会問題特別委員会

みなさまの声をお寄せください

【連絡先】神奈川県議会公明党控室

☎045-210-7630 おだ幸子

<https://lit.link/odasatiko>

HP・SNSはこちらから▶



警察官の猛暑対策を推進

猛暑の中でも様々な装備を付けてパトロールする警察官の方にとって暑さ対策は重要です。

公明党は現場の警察官の声を聞き、神奈川県庁の財政当局や県警本部に空調ベストの導入を訴えてきました。そしてついに、今年6月に機動隊員や地域の警察官を対象に、ファンから風が送られる約6,200着の空調ベストが支給されました。実際に使用した方からは、熱中症予防につながりとても助かるとの声をいただいています。



困難な問題を抱える女性を地域で支える

住まいや仕事の不安、心身の病気、相談相手の不在、望まない妊娠やDVなど、困難な問題を抱える女性への支援について、公明党は一貫して寄り添い、社会参画の実現に向けた政策提言を続けてきました。

令和7年度は、地域で生活する困難な問題を抱える女性が切れ目のない支援を受けられるよう、①社会とのつながりを持ちながら自立を目指すことが出来る支援施設「わたしのお家（うち）」の新設、②通所型支援3か所の実施、③女性支援人材養成講座の開催、④相談ダイヤル#8778（はなそうなやみ）の周知など、多角的な支援策が進められます。



フリースクールの通学支援を県外も対象にするよう要望

令和7年度当初予算案において、フリースクール等に通う子どもの保護者等に経済的支援を行う市町村に対する補助が計上されましたが、県外のフリースクール等も対象とするよう要望しました。

知事答弁 フリースクール等は、それぞれ特色ある活動を行っていることから、不登校の児童・生徒によっては自分に合った県外のフリースクール等に通うという場合も想定されるため、県外のフリースクール等に通う場合も支援対象とする方向で、市町村と調整していくと答弁がありました。



高齢者の孤独孤立対策やフレイル予防

高齢者の孤独や孤立の問題、加齢によるフレイル（心身の虚弱化）予防について質問しました。地域の高齢者同士のつながりが重要である一方、孤立する高齢者も多く、住民同士で支え合う取組を積極的に進めるべきだとし、元気な高齢者がフレイル予防や孤独・孤立対策の活動に参加できるよう、県と市町村の支援強化を求めました。

知事答弁 地域の「通いの場」支援や、活動する高齢者をSNSや動画等で積極的に発信し、誇りを持てる活動として後押しするとの答弁がありました。



<https://s-el.jp/k/os>

大切なお知らせ「災害対策」

実現

令和6年度
補正予算

トイレカーを10台配備

能登半島地震での事例を挙げて、災害発生時におけるトイレの重要性を訴え、トイレカーの導入をくり返し求めてきました。

その結果、令和6年度補正予算の「災害対策推進費」にトイレカー10台分が計上され、神奈川県は全国で最もトイレカーを有する県となります。

また、発災時以外にも、「イベント等に出動することで、県民や市町村への周知も図れるのでは」との提案が活かされることになりました。トイレカーはバリアフリータイプ5台（トイレ1機タイプ）と通常施用5台（トイレ2機タイプ）です。



災害用トイレカー（出典：宇和島市資料）

LINE公式アカウント 「かながわ防災 パーソナルサポート」

- ①災害に関する情報が届く
- ②避難に役立つ情報を調べる
- ③事前の備えに役立つ情報を調べる
- ④応急手当や地域の防災組織の取組を調べる



神奈川県総合 防災センター

防災情報・体験フロアの入館に関するお問合せなど
☎046-227-1700

体験フロアが充実

楽しみながら
学べる



県議会での取り組み

一般
質問

から

帰宅困難者対策の一層の充実を

大規模地震発生時の帰宅困難者対策について、どのように一層の充実を図るのか、くらし安全防災局長に見解を質しました。

局長答弁 九都県市と連携した一斉帰宅抑制の周知に加え、地震発生時の課題や対応策を整理する県民シナリオを検討中との説明がありました。さらに、スマートフォンで必要な情報を検索・確認できる「私の被害想定」や、災害時の行動を学べる啓発動画の作成により、対応策の普及を強化するとしました。県内の帰宅支援ステーションは9,000超の協定店舗があり、情報発信や一時滞在施設の確保も進めるとの答弁でした。



一般
質問

から

災害時要配慮者への防災普及啓発

視覚障がい者をはじめとする要配慮者が自ら災害に備える「自助」の取り組みを進めるためには、「耳で聴くハザードマップ」など、情報を分かりやすく伝えるツールの整備・活用が重要だと指摘し、県の対応を求めました。

知事答弁 要配慮者の特性に応じたきめ細かな防災知識の普及を強化する施策を実施すると答弁。具体的には、視覚障がい者がスマートフォンの読み上げアプリなどを活用して必要な情報を得られるよう、専用ページを新設するほか、防災啓発冊子に音声用二次元コードを全ページ掲載。また、音声で情報提供する「耳で聴くハザードマップ」導入も検討するとし、誰もが安心して災害に備えられる環境整備が進められることになりました。

帰宅困難者心得10カ条

- ☐ あわてず騒がず状況確認
- ☐ 携帯ラジオをポケットに
- ☐ つくっておこう帰宅地図
- ☐ ロッカー開けたらスニーカー
- ☐ 机の中にチョコかキャラメル
- ☐ 事前に家族で話し合い
- ☐ 安否確認（災害用伝言ダイヤルの活用など）
- ☐ 歩いて帰る訓練を
- ☐ 季節に応じた冷暖準備（カイロ、カップパなど）
- ☐ 声を掛け合い助け合おう

参照：九都県市防災・危機管理対策委員会

